

基本目標3 将来を見据えた、安全・安心なまちづくりを推進

公共施設再編・再配置事業

平成28年度に青梅市公共施設等総合管理計画を策定し、平成29年度に計画を推進するための組織として推進本部会議を設置した。
平成30年度には一部施設の推進工程の具体化を行い、議会、市民への説明等を始めている。

☆課題
統廃合等の対象となっている施設の利用者へ、計画実施の必要性を説明し理解を得る。
学校施設と他の施設の統合等、縮充の検討。

○公共施設再編・再配置事業にて推進工程を具体化した施設

施設名	再編方針	計画期間	施設名	再編方針	計画期間
しろまえ児童学園	廃止する。廃止後の利用は、貸し出しや売却等を検討する	～平成30年度	美術館、郷土博物館	美術館と郷土博物館の複合化を検討する	～平成34年度
福祉センター	福祉センターを廃止し、必要機能を検討した上で、東青梅地区の施設再編で集約化・複合化する	～平成33年度	永山体育館	廃止する	～平成33年度
健康センター	健康センターを廃止し、必要機能を検討した上で、東青梅地区の施設再編で集約化・複合化する	～平成33年度	釜の淵公園水泳場、長淵水泳場	廃止する。廃止後の利用は、貸し出しや売却等を検討する	～平成37年度
小曾木保健福祉センター・沢井保健福祉センター	廃止する。廃止後の利用は、貸し出しや売却等を検討する。	～平成31年度	風の子・太陽の子広場	「青梅の森」事業と合わせて検討する	～平成37年度
東青梅市民センターおよび市民センター体育館	地域性を勘案した機能の見直しや集約化・複合化による施設面積の縮減を検討する	～平成47年度	学童保育所	現在、学校施設外に設置している学童保育所は、学校施設の更新時に複合化を検討する 新たな施設を計画する際には、民間施設（空き店舗等）の活用や集約化・複合化を検討する	～平成47年度
青梅市民センター	青梅地区の施設再編と併せて、集約化・複合化する	～平成31年度	河辺町南自治会館	地元への所有権の移管を推進する	～平成30年度
永山ふれあいセンター 釜の淵市民館	廃止する。廃止後の利用は、貸し出しや売却等を検討する	～平成31年度	美術館喫茶室	美術館と郷土博物館の複合化とあわせて検討する	～平成34年度

日本ケミコン跡地の利活用

平成29年度に実施したアンケートやワークショップ、シンポジウム等を通じ、幅広く市民の意見を集めながら、日本ケミコン跡地(東青梅1丁目諸事業用地)等の利活用について、諸条件を整理し、目指すべき土地の利活用について一定の方向性を示すため、「東青梅1丁目地内諸事業用地等利活用構想」を策定した。(概要版別紙)
この構想の中で、ホールの形状、導入するその他の公共施設、民間提案によるにぎわい創出施設の検討等について想定や方向性を記している。

☆課題
基本構想を段階からさらに事業の実現性を高めるための詳細検討を行い、基本計画を策定する。また、事業スキーム確定のための事業可能性調査を行う。

自治会加入促進事業

- ・平成29年度に高齢者の退会防止策について、全自治会へアンケートを実施。集計結果を各支会長へフィードバックした。
- ・自治会連合会と市との連携協定にもとづき、各支会長と市長との情報交換会を平成29年度に実施し、支会の現状や市の考え等を情報共有した。
- ・平成30年度に入り、女性の自治会活動への参加を推進するため、自治会連合会において検討委員会を立ち上げている。

☆課題
高齢者が増加する中、高齢者と地域とのつながりの重要性が増しているが、隣組長などの自治会活動ができないなどの理由で高齢者の退会が増加している。